



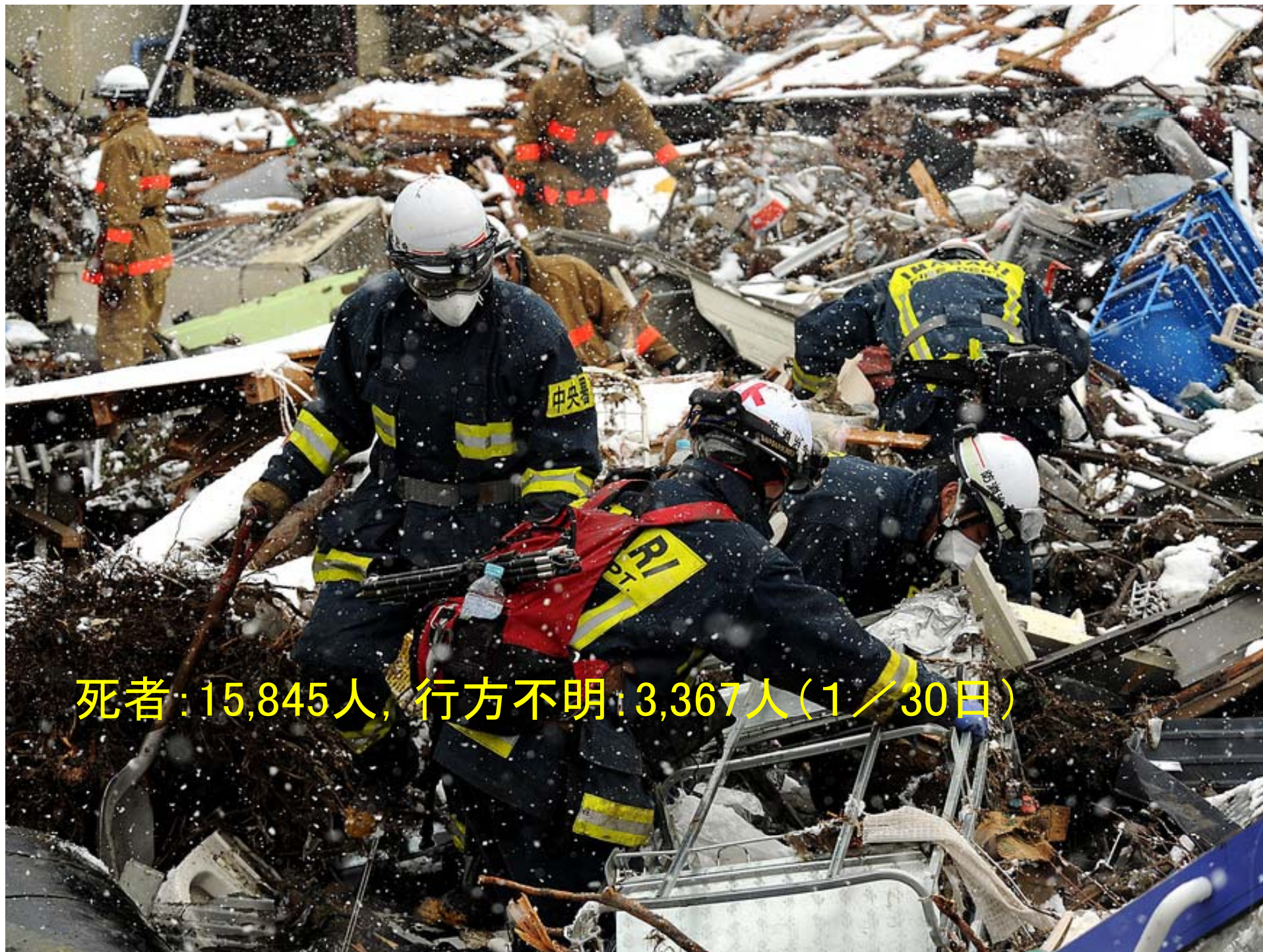
環境科学b (震災と復興)

授業オリエンテーション



第1回目 10:30~11:10

第2回目 11:20~12:00



死者: 15,845人, 行方不明: 3,367人 (1 / 30日)

概略

- 科目名 環境科学b(震災と復興)
- 単位数 2
- 配当年次 I 前期
- 担当教官名 八木宏樹・杉山成・ほか
- 研究室番号 生物学研究室

「環境科学」の履修上の注意

- 「環境科学」は「環境科学a」と「環境科学b」の2クラス開講する
- 単位は「環境科学」として1つだけ認定する
- 共通科目の中の基礎科目，系は自然と環境系
- 「環境科学b」は2012年度と2013年度の2回開講

授業の目的

- 2011年3月11日に発生した東日本大震災は私たちに大きな教訓を残した。本授業では東日本大震災で何が起こったのか、そのときどうした、これからどうするか、などを、様々な専門家の講義から検証し、将来の災害に備えた知識の取得を目的とする。

授業の方法

- 方法:オムニバス形式で授業を進める。各回の授業はOHPもしくはパワーポイントを用いた講義を中心とする。
- 最終講義は「環境科学a」と合同講義とし, 7月20日(金)4講目に行う
- 定員を300名とする

関連図書

「環境科学b」連携企画として図書館が554冊の参考図書および雑誌、文献等を用意してある。図書館に特別コーナーを設けてある(順次増やす予定)。



授業に合わせて分類してあります

授業の構成 1

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

※5月23日12:00～12:30に商大ボランティアの
報告会(後述)

授業の構成 2

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換かー東日本大震災と21世紀の世界ー」

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

地震と津波 そのときどうした (小樽商科大学OBの体験)

- 講師 尾形毅 氏

仙台銀行企画部副部長
緑丘会宮城支部副部長

- 3.11の地震と津波の被害に実際に遭遇
- その後、復興に尽力
- これらの体験談を解説

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

地震・津波 発生メカニズムとその被害

- 講師 内田康人 氏

(地独)北海道立総合研究機構

地質研究所 資源環境部 沿岸地質グループ

- 地震・津波発生メカニズムの概略説明
- 津波被害の歴史と東日本大震災の被害状況
- 今後予想される津波被害

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

地震・津波 発生時の医療体制

- 講師 安田清 氏(医師)

静岡県立総合病院救急診療部長・災害医療センター長

- 講師 高木正和 氏(医師)

静岡県立総合病院消化器センター外科・教育研修部長

- 東海大地震を想定したDMAT構築までの経緯
- 医療援助システムの概要
- 事例紹介

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

地震・津波 救難活動

- 講師 佐々木 新 氏

小樽海上保安部救難警備課長

- 地震・津波発生時の海難救助体制の解説
- 東日本大震災における救助活動の事例紹介

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

地震・津波 被災者の心理

- 講師 杉山 成 氏

小樽商科大学商学部 教授

- 災害時の行動心理
- 災害後の心理的ケアのしくみ

授業の内容

- ガイダンスと授業の進め方
- 地震と津波 「そのときどうした」
- 地震・津波 発生メカニズムとその被害
- 地震・津波 発生時に医療体制
- 地震・津波 発生時の救難活動
- 地震・津波 被災者の心理
- 地震・津波 ボランティア活動

地震・津波 ボランティア活動

- 講師 関吉佑亮 氏

小樽海上保安部

巡視船ほろべつ主任機関士

- 災害時のボランティア活動のしくみ
- 災害時のボランティア活動の経験談

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換か—東日本大震災と21世紀の世界—」

地震・津波 交通システム

- 講師 川崎博巳 氏

北海道開発局開発監理部次長

- 大地震発生時の交通システム障害とその対策
- これまでに生じた交通障害の事例

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換かー東日本大震災と21世紀の世界ー」

地震・津波 金融システム

- 講師 助川 徹 氏

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 副所長

- 大地震発生時の金融システム体制
- 大災害発生時の金融機関の役割

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換かー東日本大震災と21世紀の世界ー」

地震・津波 原子力災害

- 講師 田淵修二 氏

北海道薬剤師会公衆衛生検査センター 総務部長

- 東日本大震災と福島原発事故の解説
- 人への放射能の影響
- 北海道に与える影響

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換かー東日本大震災と21世紀の世界ー」

地震・津波 情報システム

- 講師 畑山満則 氏

京都大学防災研究所 准教授

- 大地震発生時の通信システム体制の解説
- 地震・津波情報の発信システム
- 安否確認システム

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換かー東日本大震災と21世紀の世界ー」

地震・津波 行政の役割

- 講師 高見芳彦 氏

北海道総務部危機対策局危機対策課
防災グループ 主幹

- 災害復興における地方行政の役割
- 大地震・津波発生時の防災システムの解説
- 大地震・津波発生時の初動体制

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換かー東日本大震災と21世紀の世界ー」

災害復興に向けて 1

- 講師 桑原久実 氏

(独)水産総合研究センター 水産工学研究所
水産土木工学部 生物環境グループ長

- 東日本大震災における漁港・漁場の被災状況と海域環境の変化
- 復旧に関する技術提案(ガレキ除去技術など)

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換か一東日本大震災と21世紀の世界ー」

災害復興に向けて 2

- 講師 三上信雄 氏

水産庁漁港漁場整備部整備課 課長補佐
(設計班担当)

- 東日本大震災復興における国の役割
- 災害復興に向けての予算措置
- 国のアクションプランの解説

授業の内容

- 地震・津波 交通システム
- 地震・津波 金融システム
- 地震・津波 原子力災害
- 地震・津波 情報システム
- 地震・津波 行政の役割
- 地震・津波 災害復興に向けて1
- 地震・津波 災害復興に向けて2
- 地震・津波 講演会「歴史の大転換か—東日本大震災と21世紀の世界—」

講演会（新入生歓迎講演会）

- 講師 川北 稔 氏

佛教大学教授

大阪大学名誉教授

歴史の大転換か
— 東日本大震災と21世紀の世界 —

授業の方法

- OHPもしくはパワーポイントやビデオを用いた講義を中心とする。

使用教材

- とくに指定しない
- 必要な資料は配付する
- 必要なことは黒板に書く

成績評価の方法

- 出席状況と毎回のミニレポート及び最終レポートより成績を判定する
- レポート課題(後日印刷して配布予定)

震災と復興への道

～そのときどうした, これからどうする～

- 締切: 8月6日(月)17:00
- 但し, ボランティア参加者のレポート及び締切は別途指示する

ミニレポート・最終レポートの提出場所



被災地に派遣する学生を募集します

■ 目的:

- 「環境科学b(震災と復興)」の現地学習
- 復興支援のための現況調査と情報収集

■ 現地での活動内容:

- 被災地ならびに復興活動の状況調査
- NPOや学生ボランティアなどへのヒアリング

被災地に派遣する学生を募集します

■ 日程:5月18日(金)夕方~5月20日(日)

■ おおよその行程(※予定):

◇往路 フェリー(苫小牧21:15発→八戸4:45着)

船中泊

◇2日目 被災地調査

宿泊(大槌:きらりベース)

◇3日目 被災地調査

大槌, 石巻近郊で活動するボランティア団体
との交流

◇復路 空路(花巻14:50発→新千歳15:45)

被災地に派遣する学生を募集します

■ 募集人数:10名以内

■ 要件:

- 「震災と復興」受講学生あるいは聴講学生
- 心身とも健康であること
- 性別・学年は問わない
- 派遣に際して保護者／親権者の同意が必要です

■ 費用:

- 宿泊交通費, 調査等の活動費は大学が支出します

被災地に派遣する学生を募集します

■ 事前説明: 4月25日(水) 4講目

■ 事後報告:

- ルーキーズキャンプ(5/12~13)
- 「震災と復興」講義(5/23)
- 報告書の作成

■ その他:

- 3~4名の教職員が引率します
- 派遣期間中の活動は大学の保険の対象です
- 今回の調査を踏まえて、中長期的な支援について検討します

被災地に派遣する学生を募集します

■ 申込手続き:

- ① 要綱, 申込書配布(4/16~18) ※学生カウンター
- ② 申込書受付(4/16~19) ※学生カウンター
- ③ 検討・意思確認(4/20~)
- ④ 派遣学生発表(4/23正午) ※学生カウンター

■ 質問・問い合わせ:

- 講義 → 八木
- 派遣 → 大津